IAIN DUNCAN SMITH

- **Former Secretary of State for Work and Pensions 2010 – 2016**

LONDON SPEAKER BUREAU

Topics

- Economics
- Finance
- Government
- Politics

1992年4月1日、ロンドンのチンフォードとウッドフォードグリーンの選挙区議会議員として、イアンダンカンスミス議員議員が初めて選出されました。ある期間が経つと、その後イギリスとEUの関係を変える一連の他の条約の変更が続き、それが最終的にイギリスが加盟国になるのを不可能にするでしょう。その間、彼はいくつかの選択委員会のメンバーでもありました。

1997年から2001年の間、彼は社会保障担当国務長官、そして国防長官だった。2001年から2003年まで保守党の指導者であり、その後2003年から保守党の指導者として辞任し、社会正義センタ□□CSJ□を設立しました□ CSJは、社会の中で最も所得の低いグループの人々が直面している問題に焦点を当てることに専念している組織でした。それは、おそらく最も重要な「ブレイクスルー英国：社会的ブレイクダウンのコストを終わらせる」という一連の報告書を発表し、貧困への5つの道筋と社会正義を実行し、社会で最も貧しい人々の質を高める保守的な方法に焦点を当てた。また、2013年にCSJが現代の奴隷制度に関する論文「ここで起きること：イギリスに近代奴隷制度との闘いを提供する」を発表したことも注目に値します。その後、テレサ・メイはこの問題に関する法律を制定しました。

2010年、ダンカン・スミスは障害者手当の支出を10億ポンド以上削減する決意について首相との争いを辞任するまで退職するまで、就職年金担当国務長官に就任しました。仕事と年金のための国務長官としての彼の時間の間に、彼は現代における福祉改革の最も重要なプログラムを引き受けました。そして、給付と年金制度、ならびに雇用サービスとサポートを変えました。おそらく最も重要な改革は、ユニバーサルクレジットの導入（6つの失業手当と疾病手当）、失業者を復職させるための民間部門と自主的部門の統合、そして初めての仕事プログラムです。国家年金を単純化する単一層年金。

彼は2016年6月23日のEUの国民投票に先立ち、メディアや世論の討論で何度も登場している投票脱退キャンペーンで主導的役割を果たし、政府がEUからの円滑かつ迅速な脱退を達成し、貿易に基づく新しい関係、継続的な友情と協力。

政治に入る前に、彼は1975年から1982年までスコットランド警備隊に勤めました。この間、彼は北アイルランドとローデシア/ジンバブエで奉仕を見ました。軍隊を去った後、彼は最初にGUCで、次に不動産会社のディレクターとして、そしてその後出版社、ジェーンの情報グループのディレクターとして産業で働きました。

info@londonspeakerbureau.my +603 2301 0988